

Before



かつての景色、再び。

明治初めに開削された東名運河は松並木や稲井石を用いた護岸など、美しい景観として散策などで地域住民に親しまれてきました。しかし、東日本大震災の津波被害により左岸の松並木は多くを消失。同じく稲井石護岸も流出してしまいました。復旧にあたり、住民から、残った松並木を保全して欲しいという要望が多く寄せられ、再生復興の意見交換では、歴史ある運河にふさわしい景観の保全が重要との結論に至りました。このため、松並木や稲井石護岸の復旧、整備を行い、今ではかつての東名運河の景観が再生されています。



N38度22分24秒 E141度9分20秒
(38.373,141.156)



After

鳴瀬川水系東名運河

Narusegawasuikei TONAUNGA